

DIVER'S

No. 9

令和8年(2026年)
9月11日(金)発行

—学校図書館で本と出会い、未知なる世界に飛び込もう!—



Sept 2026 - 特集

中央区学校図書館講演会



令和8年8月6日(木)、教育センター5階視聴覚ホールにて、「中央区学校図書館講演会」が開催されました。講師として、帝京大学教育学部教授・鎌田和宏先生をお迎えして、「AI時代にこそ求められる読書のすすめ」を題して講演いただきました。

日頃から生成AIが使われている中で、AI時代に生きるための必要な経験・能力としては、AIを使いこなす基礎となる「言語能力・情報活用能力」が挙げられました。これらの「言語能力・情報活用能力」を身に着けるためには、読書体験を通じて先人の心、知識に触れ、「探究活動の道を辿ること」が大切であると述べられていました。講演会の後半では、鎌田先生が携わっている図書館活用教育の実践研究校を通して、読書の指導・学校図書館の指導に関する事例をご紹介いただきました。

講演会では、区内・区外から60名を超える参加者にお越しいただき、熱心に鎌田先生のお話を聞いていました。

鎌田先生、参加者の皆さん、本当にありがとうございました。

今後も、より良い学校図書館の運営に向けて、学校図書館支援センターも引き続き支援してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



講演会の本編は
こちらからご覧いただけます

公開予定日
令和9年3月31日まで

銀座中学校

銀座中学校の図書館は毎日開館しており、生徒がいつでも気軽に本と触れ合える場所となっています。本校の図書委員会では、本を手取るきっかけを作るために「おすすめ本の紹介」を作成して図書館前に掲示しているほか、クラスメイトが興味をもちそうな本を厳選した「学級文庫」の設置や日々の管理を行っています。

こうした図書委員の取り組みの中で、特に全校生徒から人気を集めているのが毎年冬に行っている「本の福袋」です。これは、委員が選んだおすすめの本を何冊か紙袋に入れ、外側に「このような人におすすめです。」という紹介文を貼り、中身が見えない状態で貸し出す企画です。何が入っているか分からないワクワク感が、新しいジャンルの本と出会うきっかけとして好評を博しています。

毎日開館している利便性と、図書委員による工夫を凝らした活動によって、館内は活気に満ちています。

今後も、全校生徒にとってより身近で、自然と足を運びやすくなるような魅力ある図書館を目指しています。

学校図書館の様子を先生がご紹介します！

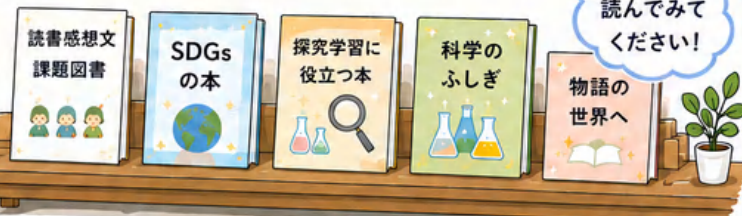


本の福袋



新着図書、届きました！

読書感想文課題図書や授業で活用できる本など、1学期に注文した本が学校図書館に届きました。各校、新着図書のコーナーを設置し、展示しています。



ぜひ読んでみてください！

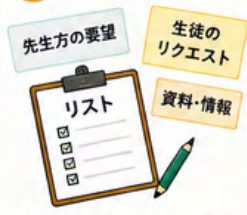
学校図書館に本が届くまで

1 本を選ぶ



配置司書が本の展示会場で、本を手に取り内容を確認します。

2 リスト化・検討



先生方の要望や生徒のリクエスト、各種資料や情報も含めて、学校図書館に必要な本をリスト化。学校内で、購入する本を検討します。

3 注文



決裁が下りたら、本を注文します。

4 図書装備



バーコード、背ラベル、フィルムコートかけた本が学校へ届きます。

5 受入・登録



届いた本に問題がないか確認し、学校図書館のシステムに読み込みます。

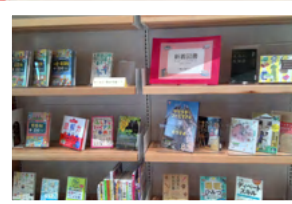
6 展示！



新着図書のコーナーに展示。みなさんの手元へ！

各校の新着図書コーナー

いろいろな本が届いています♪ 気になる本を見つけてください！



[お問い合わせ先]

中央区学校図書館支援センター（中央区立教育センター内）

〒104-0044 東京都中央区明石町 12-1

TEL.03-3545-9201

